

消防記念日に

優良少年夜警団表彰



三月七日の消防記念日をきし、村内の優良少年夜警団が表彰された。

部活の安全は自分達の手でと、文字通り雨の日も風の日も連日、拍子木をうちながら夜警に努め、部落の人達にも感謝されていたものです。

午前十時より役場において、それの代表者が、議長、議長、消防団長、校長、先生等多数の前で村長より感謝状と金一封を贈られ、記念撮影をすませて散会しました。

篤農家へのアンケート

広い産業界の中でもっとも遅れているのは農業であるといわれておりますが、近年、三早栽培の普及が叫ばれるなど技術がとみに高度化してまいりました。加えて昨年の大豊作の後をうけた本年は、多面にわたって難かしい問題が山積していると思ひます。

質問表

- 1 大豊作の後の今年の施肥は、どんな点に注意したらよいでしょうか。
 - 2 三早栽培に気合がかまてきましたが、早稲を育てるためには田の作業をどうしてすめたらよいでしょうか。
 - 3 管理、技術あるいは営農の面で、全農家にぜひお奨めしたいことは、
- 渡辺 福蔵(田代)
- 希有の大豊作を得たことにより地方は予想以上に失なわれたこと、と思ひますので、去年より三割内外多く施すべきだと思ひます。

新生活運動に適合した催し

公民館老方分館主催の生産品生活改善展示会、去る三月三日より、四日の二日間、わが村老方小学校で開催され、観覧品点数三百余点に達する盛況をきわめました。

四日午後より褒賞授与式を行い、来賓諸氏から「まことに新生活運動に適合した催しであり、また、継続して開催されることを望む」旨の祝辞あつて意義深い二日間の幕を閉じました。

赤ちゃんコンクール

このたび表彰をうけた団体は次の通りです。

(団体名) 田代少年夜警団 住吉小

(個人名) 地下沢 玉米小 下小路 老方小 下小路 老方小 舟木 宿小

佐藤文助(黒淵)

- 1 施肥設計については充分注意しなければならぬと思ひます。まず二・三割の増産をしようと思ひます。
 - 2 三早栽培は全耕地に実施することはできないと思ひます。田の作業は水利の条件がよければ進められると思ひます。土壌乾燥を進めるため、普通田より二・三回よけに鋤返しが必要と思ひます。
 - 3 田植後の中耕除草をなるべく早く行うこと(肥料分解促進のため)。
- ③ 営農資金の貯蓄。
- 遠藤 博(館合)
- 品種により異なるが、施肥量を二割位まで増産する(耐)

焚天奉納にぎわった御嶽さん

三月一日(旧一月十九日)恒例の御嶽神社祭典が行われ、おりの寒風をうけて、若者達により焚天奉納の威勢よい風景がみられました。

気象からみた稲作予想

今号にて試み昭和二十八年と今までの天候は、アンケート」の回答をかねて、遠藤普通苗代で最低反当十五坪は、徳太郎氏が「今年、早、中、晩の組合せ品種の気象からみた稲作予想」をお寄せ下さいました。

今から百二十年、前の天保七年、六十年前の明治二十年と今年とは同じ九年と今年とは同じ丙申の年である。天保七年は土用中に稲入れを著る寒招く恐れがあると思ひます。特に昨年の豊作を省り、米の増産を著る寒招く恐れがあると思ひます。特に昨年の豊作を省り、米の増産を著る寒招く恐れがあると思ひます。

秋田開拓団の現況

【動勢】 世帯数 二八 人員 大人五九、小人三二

一帯平均 三、二 入殖時期 昭和四二・四三

離農世帯 一三(三三%) 開拓協同組合(開拓農協)に加入

入植者の近況

現在、北海道庁総合開発本部で活躍なさつておられる、本村老方出身の小松金之助氏より、秋田開拓団の一部の近況をお知らせしてまいりましたので、ここにその全文を紹介いたします。

秋田よりくらしよい北海道

小松金之助氏からのお便り

【入植者の近況】 秋田よりくらしよい北海道

【入植者の近況】 秋田よりくらしよい北海道

来月から月二回発行

村報はこれまで月刊でしたが、もつと記事にニーズ性をもちこむため、来月からB五判横型二ページ(現行紙の半分大)の月二回発行にいたします。発行日は毎月五日、二十日の予定です。

木炭品評会

四月六・八日、村後援のもとに木炭品評会を、老方農協倉庫を会場として開催いたします。日程は六日午前八時半より受付、七日審査、八日一般観覧と午前十時より褒賞授与式。なお八日午前九時より出品物の競売も予定しております。

昭和二十四年当時

現在 一町一、二〇〇円

現在 一町二、三〇〇円

現在 一町三、四〇〇円

現在 一町四、五〇〇円

現在 一町五、六〇〇円

現在 一町六、七〇〇円

現在 一町七、八〇〇円

現在 一町八、九〇〇円

現在 一町九、〇〇〇円

現在 一町一〇、一〇〇円

現在 一町一〇、二〇〇円

現在 一町一〇、三〇〇円

現在 一町一〇、四〇〇円

現在 一町一〇、五〇〇円

現在 一町一〇、六〇〇円

現在 一町一〇、七〇〇円

現在 一町一〇、八〇〇円

現在 一町一〇、九〇〇円

現在 一町一〇、〇〇〇円

東山利村報

No. 9

発行

東山利村

役 場

昭和31年度本予算(総額三千九百万)等を議決

三月三十日第三回村議会定例会

第三回村議会定例会は三月三十日に招集され、次の提出議案について審議されたが、十三号議案をのぞいては全部原案可決となりました。

①、東山利村農業委員会の選挙による委員の定数条例制定について(定数十五人)

②、東山利村消防団給与条例の一部を改正する条例制定について

③、昭和三十一年度における固定資産税の税率の特例に関する条例制定について(税率百分の一、八)

④、東山利村特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

⑤、専決処分承認を求めるについて(昭和三十一年度歳入歳出予算中、歳出予算の一部を更正)

⑥、昭和三十一年度東山利村歳入歳出予算(総額三九、〇五〇、八三〇円、内訳は別項総括表のとおり)

⑦、昭和三十一年度東山利村歳入歳出追加更正予算(追加総額一、六二七、九一六円、総額四七、二四八、二九七円)

⑧、下郷財産区有立木売却処分について(本村宿字三階滝三十五番の内一定区域内の松、雑木立木)

⑨、昭和三十一年度東山利村下郷財産区特別会計歳入歳出予算(総額二三、八〇〇円)

⑩、昭和三十一年度東山利村下郷財産区特別会計歳入歳出予算(総額一二六、二〇〇円)

村民の希望に応える新予算

村長の施政要旨



梅津村長

村議会定例会に昭和三十一年度歳入歳出予算案の提出にあたり、村長から新村計画を最大限においてこみ、陳情もできるだけとり入れて村民の希望にこたえようと、更に冗費の節減に努めるなどして健全財政を堅持すると、大要次のような施政方針について説明がありました。

新村最初の予算編成にあたりまず旧両村の特長を生かして均衡を図るとともに、合併条項による新村計画を最大限においてこみ、財源の範囲内において陳情等をできるだけとり入れて村民の希望にこたえたく、土木、産業に重点をおいた。

税率一、八を妥当とみとめた。これからも旧両村の税の均衡を図るため調査をおこなう。なお交付税等は最大限に計上した。

役場 旧両村の吏員給の調整をはかった。

消防 村内消防施設の充実を図り、治安維持の上からも公立、私立の区別なく強力にしたい。私立消防団の指揮系統についてはなお研究を要すると思われる。消防機械力と同時に

歳入 課税については村民の担税力を検討し、標準

衛生 戦前に比べ体位が向上されておることは喜ばしい。衛生思想の普及に努め、予防接種については全額村費をもつて実施することにした。

産業 本村は純農村でありながら新農村計画の一反歩に達しないので基準増反を計画し、農協等と連絡の上向上に資したい。

労働 細民の救助更生についてはとくに民生委員の協力を願いたい。慰霊祭は当分続行し、今年は一ヶ所で酒なしでこないたい。火葬場設置については今後考慮したい。また失業救済については事業の誘致等を考慮し、職を与えるように努めたい。

教育 教育費は幾分節減されたが、教育効果を充分得られるよう期待する。

土木 村内橋梁はいちじるしく腐朽し、二十二年の洪水からして一様に寿命に達しているの、特に橋梁に重点をおいている。消雪期には厳密に調査をおこなう。

また山間部の土木事業も考慮しており、関係部落の援助をお願いしたい。

昭和31年度東山利村歳入歳出予算

総括表

Table with 2 main sections: 【歳入】 and 【歳出】. It lists various income and expenditure items with their corresponding amounts in yen.

【次頁下段に続く】

土地改良区の 総代決る

三月二十七日、東由利村本莊市石沢小友土地改良区の総代選挙が執行されましたが、本村関係の当選者は次の通りです。

▲第一区 (定員二名)

高橋忠助(新田)小野久輝(須郷田) 高橋又三郎(宇戸坂) 佐藤藤左門(八日町) 渡辺哲治(田代) 畑山良吉(下小路) 斎藤政吉(石高) 小野秀治(下小屋) 高橋重助(新田) 渡辺与七(時雨山) 佐藤源吉(同) 小松由蔵(高戸屋) 小松玄一郎(館西)

▲第二区 (定員四名)

佐藤長次郎(下通) 長谷山誠一郎(同) 小松勘藏(同) 小野治右

牛、山羊、山羊市場

四月十一日に開催

四月十一日午前八時より、台山馬検場において牛、山羊、山羊市場が開催されます。

なおこれと同時に仔畜(牛)検査をおこないますから、満四ヶ月以上明二才の未検査牛は必ず

工門(上里)

▲第三区 (定員七名)

阿部佐平(蔵) 阿部直一郎(岩助(同))

▲第四区 (定員二名)

佐々木宇一郎(大琴) 石綿民之

能代大火の被災者に愛の手を

義捐金募集中

去る三月二十日、能代市では戦後二度目の大火にみまわれ、千四百七十余戸を全焼し、罹災者六千余名をだしたことはすでにご承知のこととあります。損害額は二十億円にのぼるものと推定されており、一昨年の本村大琴の大火を想起してみただけでもその惨状は想像に絶するといつてよいでしょう。

同市では先の大火による復興もまだ途上にあつて、今回の復興はさらに困難をくわえておりますので、県をはじめ、それ／＼の関係機関で救助対策をすすめておりますが、本村でもこれに呼応して社会福祉協議会、民生委員会、婦人会、青年会が主唱者になつて罹災者の再起の一助にしようとして、一世帯十円以上の義捐金を募集しております。

主唱者側では皆さんの心からなる同情とご協力を切に希んでおります。

受検してください。

市場への申込期日は七日までです。

予防日程表

【下郷地区】

四月十日	腸バ①①	蔵
一日	同	老方
二日	同	法内
三日	同	宿
一七日	腸バ②②	蔵
八日	同	老方
九日	同	法内
二〇日	同	宿
二三日	腸バ③③	蔵
二四日	同	老方
二五日	同	法内
二六日	同	宿

【玉米地区】

四月一二日	百日咳②	館合
一三日	同	住吉
一九日	ジフテリア②	館合
二〇日	同	住吉

【一面より続く】

財産

林業振興は、本村将来発展のために永遠事業であり、とくに造林を強力実施し、既存山林の育成にもつきたい。

統計

統計は行政の基本となるものであり、確実な統計を掌握したい。

選挙

本年は教委、農委、村議、参議員の四選挙を予定している。

諸支

村内無電灯部落の解消を図りたい。部落電話架設については今後検討したい。

負担金寄附金等は一応計上しておいたが、県の統制があるはずであり、減額されることを期待している。

村内各学校

授業開始

四月に入り、二日の住吉小、袖山小をはじめとして三日に蔵小、老方小、法内小、宿小、玉米小、五日に下郷中、玉米中と村内各学校ではそれ／＼入学式を行い、新学期の授業を開始しました。学校別の本年の入学人数は次のとおりです。

学校名	男	女	計
蔵小	二六	二三	四九
老方小	三二	二二	五四
法内小	一五	一四	二九
宿小	二三	一八	四一
玉米小	三一	三〇	六一
住吉小	二五	二二	四七
袖山小	五	七	一二
祝沢分	六	一	七
高村分	三	一	四
大台分	五	四	九
沼分	一七	一四	三一
計	一七一	一四三	三一四
下郷中	七九	七八	一五七
玉米中	五一	四八	九九
計	一二〇	一二六	二五七

訂正おわび

▲前号で俵検査の方針をお知らせしましたが、棧俵の寸法一尺五寸は一尺一寸の誤りでしたから訂正しておきます。

▲サイレン時間は朝五時のところを六時と変更し、四月一日から実施しております。

越冬している蚊・ハエの駆除 ——— 今 が 適 期 ———

これから雪がきて暖かくなると蚊やハエが発生してきます。私達はこれにはあまり関心をはらつておらないようですが、蚊やハエがおらなくなる赤痢のような伝染病も減ってくるし、蚊張、蚊とり線香、ハエたまりなどに支出していた経費も大きく節約され、家畜の夏やせも防げるし、鶏の産卵数や、牛や山羊のさく乳量も増えてきます。このように健康的で気持ちよい生活

★ 室内の日当たりよい窓ぎわの天井、畜舎や物置きすみなどに冬越ししている蚊には殺虫剤を散布する。

★ ハエは特に台所、窓ぎわ、便所、畜舎などの温かいところで冬越ししているの、捕殺するか殺虫剤を散布する。

★ またハエは便所の汲取口、肥溜、ごみ溜、畜舎、堆肥舎などの周囲の土中にサナギと

駆除剤の用法

薬剤名	使用量と方法	散布間隔
五 % DDT油剤	一坪当り九勺を原剤のまま噴霧器で散布する	一ヶ月一〜二回